

ITU-R SG5 第2回会合報告書

1 会議の概要

ITU-R SG5は移動業務、固定業務、無線測位及び標定業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5第2回会合は、2008年11月10日(月)から11日(火)までの2日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には54カ国の主管庁、3つの国際機関及び認められた私企業等から164名が参加した。日本からは表1に示す9名が出席した。

議長は橋本 明氏(日)であり、副議長はT.K.A. ALEGE氏(ナイジェリア)、A. CHANDRA氏(印)、J.M.COSTA氏(加、WP5A議長)、T. EWERS氏(独)、C. GLASS(米、WP5C議長)、A. JAMIESON氏(ニュージーランド)、A. KLYUCHAREV氏(露)、L. SOUSSI氏(チュニジア)、L. SUN氏(中)、K.-J. WEE氏(韓)である。

今回の会合においては、参考資料1に示す84件の寄与文書について審議を行った。

勧告案については、表2に示すとおり、1件が採択、3件が郵便による採択・承認同時手続に、1件がWPへ差戻しとなった。また、表3に示すとおり、1件の新研究課題案、1件の研究課題改訂案及び1件の研究課題の削除提案が採択され、1件がWPに差し戻されるとともに、4件の新報告案と1件の改訂報告案が承認され、3件が削除された。

日本寄与文書の審議結果は、参考資料2のとおり。勧告文書の採択・承認手続きの手順については、参考資料3のとおり。

今回の会合においては、これまで暫定の扱いとされていたSG5の審議体制(WP構成)について審議され、現状通りの体制及び前回決定されたWP5B議長を除き、暫定議長であった残りのすべて(WP5A、WP5C、WP5D)の議長が正式に決定された。なお、残る問題(所掌事項の一部移行の可能性等)については今後WP間で審議することとした。

表1 SG5会合出席者一覧

氏名	所属
坂中 靖志	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
橋本 明	(株)NTT ドコモ 無線標準化推進室 室長
大本 隆太郎	(株)NTT アクセスサービスシステム研究所 ワイヤレスアクセスプロジェクト 主任研究員
森崎 孝行	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター
新 博行	(株)NTT ドコモ 電波部電波企画 担当課長
坂本 信樹	(株)NTT ドコモ 電波部電波企画担当主査
中川 篤	KDDI 技術渉外室電波部企画制度 GL
小川 博世	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
小坂 克彦	(独)情報通信研究機構 研究推進部門標準化推進グループ

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時手続		通常の郵便による採択及び承認手続		決議 1-5 第 11 章に基づく編集上の修正が承認された勧告	通常の勧告廃止承認手続	解決を求めるため RA-11 で審議		WP への差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂			廃止	新	改訂	新
WP5A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
WP5D	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	2	0	0	4	0	0	0	0	1
	1		3		0				0		1	

表 3 SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差戻し	新	改訂	削除
WP5A	0	1	1	0	0	0	3
WP5B	1	0	0	1	1	0	0
WP5C	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	0	0	0	0	3	1	0
合計	1	1	1	1	4	1	3
	4				8		

2 審議の内容

2. 1 WP5A (IMT を除く陸上移動通信)関連

(1) 勧告

今回、WP5A から、新勧告案／勧告改訂案の提案はなかった。

(2) 研究課題

WP5A から、以下の研究課題改訂 1 件、研究課題削除 1 件の提案があった。

- ① 研究課題 224-2/5 「アダプティブアンテナ」に関して作業が終了したため削除の提案を行い承認された。
- ② 研究課題 215-2/5 「固定もしくは移動業務における FWA システムのための周波数帯、技術特性および運用条件」の改訂

【入力文書:5/84(WP5A)】

シリアより、considering f)、またイラン、米国より、decides 4 の字句表現修正の要求があり、修正後承認された。

(3) 報告

WP5A から、報告削除 3 件の提案があった。

既レポート M.358-5「移動業務に要求されるプロテクション比と最小電界強度」、M.1018-1「移動業務用変調技術シミュレーションのための同一および隣接チャンネル評価基準」、M.1019「移動業務用基地局における不要信号源」の削除の提案があり承認された。

(4) 審議報告

Executive Report of the 2nd meeting of Working Party 5A

【入力文書: 5/120(WP5A 暫定議長)】

WP5A 会合における審議結果報告が WP5A 議長により行われた。WP5A は 10 月 28 日から 11 月 6 日まで開催され、37 カ国から 143 名が参加した。123 件の入力文書が審議され、50 件の文書を出した。全体的なコメントとして、最初にシリアよりワーキンググループ WG の数が多いのではないかと質問があり(WP5A には、6 つの WG と 1 つのアドホック G がある)、これに対して WP5A 議長より、現体制において多数の入力文書(123 件)を短期間で検討していくための最適 WG の体制であり、また各 WG 間にはオーバーラップが少なく、なおかつ各 WG の会合のオーバーラップもできる限り少なくする方向で運営ができていているとの回答があった。また、イランからは必要最小限で WG を構成すべきであり、また SWG に作業を分割し並行会合を行うことは望ましくないとして述べた。議長がこの意見を議事録に残すこととした。またイランは、各 WG において 1 次業務の帯域で 2 次業務からの干渉に対するプロテクションの議論は必要ないという意見を述べた。

キューバより、PPDR のスペクトラムに関して PDNR が対象とする周波数帯の使いにくい点が述べられた。これに関連して、WP5A 議長より、Region 2 の PPDR に関する周波数帯に関しては、Region2 からの報告文書である 5A/165 ですでに報告されていることが述べられた。また、シリアより 5/120 の 3.6 節で説明された 5A/168 の Annex7 の PDNR のタイトル「Harmonized frequency arrangements for public protection and disaster relief operations in the ranges 380-470 MHz in [certain countries in] Region 1 and 746-806 MHz in Region 2 and some countries in Region 3」の一部に使われている鍵括弧[certain countries in]の削除が求められ、鍵括弧が削除された。なお、この鍵括弧は 380-470MHz 帯に関しては欧州内で特定の国のみが割り当てを行っているため、WA5A の審議段階でスウェーデンの提案により入れられた括弧である。

さらにロシアより、PDNR に関しては作業文書レベルにすべきであること、Resolution 646 にしたがって検討するべきであるとのコメントがあったが、WP5A 議長よりすでにロシアのコメントは WP 議長報告に記載することで WP レベルの確認が行われており、また本 PDNR は議長報告添付されていること、サーキュラーレターでも各国への周知を行い本勧告案への入力をエンカレッジ済みであり、ロシアとして内容に異論があるなら今後の入力文書を期待したいとの回答があった。

最後に、PDNRreprot(Annex8 to 5A/168)に関してシリアより、いつも言っていることであるがいくつかの Resolution を踏まえてレポートの内容を検討するようにとのコメントがあり、それに対して WP5A 議長より、すでに ITU-R Resolution 53, 55, WRC Resolution 644, 646, 647 を反映しているとの回答があった。

2. 2 WP5B (GMDSS を含む海上移動業務、航空移動業務及び無線測位

業務)関連

(1) WP5B における審議概要

【入力文書:5/119(WP5B議長)】

WP5B 議長の Mettrop 氏から SG5 会合の直前に開催された第 2 回 WP5B 会合の概要が Executive Report(Doc.5/119)に基づき報告された。本会合では 2 件の新勧告案、1 件の勧告改訂案、2 件の新研究課題案、1 件の新報告案を SG5 に提出した。参加者数は 190 名以上であったが、WRC 議題が多数割り当てられていることから今後増加する見込みであることが述べられた。

WP5B の Plenary では SG5 に送付する文書および外部に送付される LS は審議されたが、議長報告に添付される作業文書は全く審議されなかった。イランからは、SWG などの下位の会合に出席できない代表のために、Plenary においても作業文書の審議が必要であるとの意見が述べられている。

(2) 勧告

- ① 新勧告案:ITU-R M.[ANT PAT] – Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses

【入力文書:5/89(WP5B)】

本新勧告案は干渉解析のために使用される無線測位業務のアンテナの数学的モデルを与えるものである。この新勧告案は、今年 2 月の SG5 に提出され審議後郵便投票に付されたが、Consultation process 中に 2 カ国からコメントが寄せられた。これらのコメントを考慮し、Update された案である。表(P.5)のエディトリアルな修正や参考文献を示す脚注を削除し採択された(本会合にて採択、郵便投票で通常の承認手続き)。

- ② 新勧告案:ITU-R M.[MET-RAD] – Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars

【入力文書:5/101(WP5B)】

本新勧告案は気象レーダの保護基準と共用検討のための技術・運用特性が述べられている。シリアから、Considering、Recognizing、Noting の入れ替え、Recommends の Editorial な修正等の大幅修正提案があり、承認された。また脚注の参考文献が一般に入手できるかどうかのチェックが必要であること、一部用語(Wind Farm)の定義が不明である(後で定義を加えることにする)などのコメントがあった。さらに、文中に周波数帯の表現に X バンドなどの用語が使用されているが、このような用語は 1997 年の WRC から使用しないことになっている(ICAO が使用している周波数帯の呼称を除く)との指摘があった。本件については、なお、イランから SG5 からこのようミスを犯さないように WP に指示すべきとの発言があった。

さらに、議長から一部の図番がないことが指摘など多くの修正が必要となったが、後で WP5B 議長が Counselor と修正作業をすることで、承認された(PSAA)。

- ③ 改訂勧告案:ITU-R M.1842 – Characteristics of VHF radio systems and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service RR Appendix 18 channels

【入力文書:5/117(WP5B)】

本勧告は海事通信用 VHF データ通信に関わるものであり、新たな Annex として、広帯域(50kHz)のデータ通信システムの例を追加することを目的としている。

シリアから Considering b)中の inexpensive との用語に疑義が呈され、この用語部分を削除することとした。さらに、Communication は Radiocommunication とすべき、またこの勧告は最近改訂されており再改訂する理由が必要との指摘があった。これらの修正を加えることを条件に採択され

た(PSAA)。

(3) 報告

- ① 新報告案: ITU-R M.[METRAD-TEST] - Theoretical analysis and testing results pertaining to the determination of relevant interference protection criteria of ground-based meteorological radars
【入力文書:5/102(WP5B)】

新報告案[ITU-R M.[MET-RAD]]に関する新報告案である。この新報告案と同様にXバンド等の用語が使用されており、また図の一部が仏語となっているが後で修正することにする。シリアからの用語(Reflectivity)が一般的な用語であるかの質問があったが、WP5B 議長からレーダ関係でよく使用されているが、後で再チェックするとの説明があった(仏からは文中に記述があるとの説明があったが、シリアは納得していない)。そのほか、ニュージーランドからは図番が不適切であることや図の不備、またオーストラリアからは表に単位の記述がないなどの指摘があったが、後で修正作業を行うことで承認された。

(4) 研究課題

- ① 新研究課題: ITU-R [COMPAT-VHF]/5 - Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975 - 137 MHz
【入力文書:5/87(WP5B)】

WP5B 議長から、本研究課題案は前回の SG5 に提出されたものであるが差し戻され、さらに検討された結果であり、WRC-11 の議題には関係しないとの説明があった。

第1地域とイランでは88-108MHzの周波数をデジタルBSでも使えることになっている。デジタルBSプランに影響を与えるのかとのイランからの質問に対し、WP5B 議長は、この研究課題はBSプランに影響を与えることを意図していないと答えている。

シリアからは、決議413ではすでに勧告ITU-R BS.1144を参照しているため、この研究課題案の必要性に疑義を呈した。これに対して、WP5B 議長は、この研究課題案は既存のRNSとARNRSを扱うことを意図しており、この件はすでにSG6に通知し同意を得ていると述べた。また、イランは、この研究課題は既存のRNSおよびARNRSのみを扱うことを明確にすべきであって、新たなサービスのためであれば、Res413だけで十分であると述べている。

SG6議長からのGeneva 84 Agreementに基づくBSプランにImpactを与えないとのNew consideringに必要なとの発言を発端に、RecallingまたはBeing consciousがよい(イラン)、決議413のテキストを利用する(米国)などの意見がでた(イランから、決議413は第1地域だけではなく全地域に適用されるとの指摘あり)。結局、米国からまだ検討が必要であり、差し戻すことが適当との提案、さらにWP5B議長からの次回のWP5B会合の前にSG6関係会合が開催されるため放送側からの意見を取り入れることができるとの発言から、本研究課題案は再度WP5Bに差し戻されることになった。

- ② 新研究課題: ITU-R [WAIC]/5 - Technical characteristics and operational requirements of wireless avionics intra-communications (WAIC)
【入力文書:5/88Rev.1(WP5B)】

航空機内の無線伝送の研究を行うための新研究課題案である。提案されたDecides 1に関しては、原文が誤解を招く表現であったため、フランスからこの意味は既存の有線業務のConvert(無線化)と無線によるNew applicationの2つの意味があるとの説明がされた。このた

め、イランはどのように既存業務を Convert できるかと New Application を 2 つの Considering に分けるべきであるとコメントした。また、シリアは、Decides 2 の Existing frequency allocation は分配に関する事項ではないかと疑義を呈し、米国からは WRC に関する事項ではないとの説明があった。このようなことを受け、Decides 1、2 の修正テキストを関係者で Break 中にドラフトし承認された。

2. 3 WP5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

(1) 勧告

以下の 2 つの勧告改訂案の審議が行われた。

- ① 勧告 F.1247: Technical and operational characteristics of systems on the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and earth exploration-satellite services operating in the bands 2 025-2 110 MHz and 2 200-2 290 MHz (2GHz帯における固定業務と科学業務間の共用)

【入力文書: 5/112】

シリアからのエディトリアルな修正("EES services"を"EES Services(EESS)"に修正)を施した後、郵便による同時採択・承認手続きを取ることが同意された。本提案は科学業務衛星の軌道上で地上固定業務からの干渉を特に保護すべき軌道位置を SG7 の要求に応じて追加するものである。

- ② 勧告 F.1249: Maximum equivalent isotropically radiated power of transmitting stations in the fixed service operating in the frequency band 25.25-27.5 GHz shared with the inter-satellite service (25.25-27.5GHz 帯を衛星間業務の共用する固定業務の送信局の最大 EIRP)

【入力文書: 5/113】

本提案も前文書と同様、科学衛星軌道上の保護位置を追加するものである。

以下の意見があったが、結論として WP5C で再審議することとなった。

- ・シリア、イランより、recommends 1, 2 は RR の規則を記載しており、それを勧告するのは mandatory の事項を non-mandatory であるかのように扱うので不適切であるとの意見があった。
- ・フランスより、recommends 1, 2 は recognizing に変更すべきとの意見があった。
- ・SG5 議長より、considering a)、h) は古い情報なので削除すべきとのコメント、および今後、本勧告と同様に RR に採り入れられた規定を勧告する内容の勧告については、見直す必要があるとの意見があった。
- ・シリアより WP5C 議長に本勧告改訂の緊急性について照会があり、WP5C 議長より次回会合で今回の提案修正部分以外の勧告の内容を見直すことが同意された。

(2) 研究課題

今回、WP5C から、新研究課題案／研究課題改訂案の提案はなかった。

(3) 報告

今回、WP5C から、新報告案／報告改訂案の提案はなかった。

(4) 審議報告

Executive Report on the meeting of Working Party 5C

【入力文書:5/118】

イランからWP5C議長への、「HAPSに関する議題1.20の検討においてWP4Aへの作業計画等の情報提供がされているのか。」との質問に対し、WP5C議長より、情報提供をしているとの回答があった。

(5) その他

① SG4からのSFシリーズ勧告の削除に関するリエゾン[入力文書:5/77]

SG4からSG5に対し、WP5Cからの照会に基づき10件のSFシリーズ勧告を削除するとWP4A提案を承認したことを伝えるリエゾンが説明された。これに基づき、SG5でも当該10件の勧告削除が承認された。

② FWAに関する作業の移行に関するWP5A/5C間の合意[入力文書:5/116]

シリアからのエディトリアルな修正（移行対象となるFWAのScopeの”mass market”を”large deployment coverage”に変更）を施した後、承認された。

④ WP5Cの所掌する勧告のScope追加[入力文書:5/114]

イラン、シリアより、SFシリーズおよびFシリーズの今回Scopeを新規作成した勧告について、現状のRR条項の情報と合致していないもの見直しが必要との意見があった。これを受けてWP5C議長より、本文書をWP5Cに差し戻し、見直すことが述べられ同意された。

WP5C議長よりSG議長に対し、「これらのScopeの見直し作業はSG4にも関わる作業なので、修正作業への協力依頼を伝えてほしい。」との要請があった。それに対し、SG議長より、SG4には本件以外にも伝達すべきことがあるので、本会合後にSG4へのリエゾンを送付することが述べられた。また、シリアよりRR条項の情報と勧告名、Scopeの内容の照合作業のうち規制的な情報については、事務局を利用するのが望ましいとの意見があった。

2. 4 WP5D(IMT)関連

(1) 勧告

今回、WP5D から、新勧告案／勧告改訂案の提案はなかったが、既存勧告へのスコープの追加の提案が行われた。

【入力文書:5/70(WP5D)】

WP5D から入力された文書に基づき、以下の4つの勧告のスコープの追加についての審議が行われた。

勧告 ITU-R M.1456	Minimum performance characteristics and operational conditions for high altitude platform stations providing IMT-2000 in the bands 1 885-1 980 MHz, 2 010-2 025 MHz and 2 110-2 170 MHz in Regions 1 and 3 and 1 885-1 980 MHz and 2 110-2 160 MHz in Region 2
勧告 ITU-R M.1545	Measurement uncertainty as it applies to test limits for the terrestrial component of International Mobile Telecommunications-2000

勧告 ITU-R M.1579	Global circulation of IMT-2000 terminals
勧告 ITU-R M.1646	Parameters to be used in co-frequency sharing and pfd threshold studies between terrestrial IMT-2000 and broadcasting-satellite service (sound) in the 2 630-2 655 MHz band

シリアより、勧告 M.1579 のスコープの議論において、IMT-2000 端末の国際ローミングは現在では普通に行われていることから、勧告自体の必要性についての確認が行われた。ドイツからは、当該勧告の中には将来的にもまだ検討すべき事項が含まれており、維持すべきと反論が行われた。さらにシリアからは、提案されたスコープの第一文 (IMT-2000 端末のグローバルサーキュレーションとは、ユーザが所有する端末を訪問国に持ち込み、訪問国の法規制に合致して利用可能な所で使用する権利である。) は、他の国際機関で合意された内容であり、ITU-R の所掌範囲からは不適切であるとして、削除の提案が行われた。WP5D 議長からは、シリアの指摘の点が勧告の recognizing a), b) に記載されているとコメントが行われた。オフラインで関係者が調整した結果、提案された第一文を削除する代わりに “It is recognized that the World Customs Organization (WCO) has developed the Istanbul Convention and the Professional Equipment Convention which is applicable to IMT-2000 terminals.” との文を追加する提案が行われ、承認された。

なお、勧告 M.1456, M.1545, M.1646 のスコープについては特段の議論はなく、承認された。

以上 4 つの勧告のスコープは、決議 ITU-R 1-5(11 章) の手続きにより勧告本文に追加される。

(2) 研究課題

今回、WP5D から、新研究課題案／研究課題改訂案の提案はなかった。

(3) 報告

以下の 3 つの新報告案、及び 1 つの報告改訂案の審議が行われた。

① 新報告案 ITU-R M.[IMT.REST]: “REQUIREMENTS, EVALUATION CRITERIA AND SUBMISSION TEMPLATES FOR THE DEVELOPMENT OF IMT-ADVANCED”

【入力文書: 5/68(WP5D)】

本文書は、ITU-R における IMT-Advanced 無線インタフェースの標準化に関連し、(1) 要求条件 (サービス、周波数、技術性能)、(2) 評価のガイドライン、評価基準、及び評価方法、(3) ITU-R への提案方法及び関連テンプレートを取りまとめたものである。

審議では、シリアより、2.2 章の周波数帯の記載部分について、698-960MHz 及び 3400-3600MHz 帯は、WRC-07 の結論により、分配が有効になる時期が決まっているとして、新報告案の修正自体は不要であるが、指摘の点を Summary Record に記載して欲しいとの要請が行われた。一方イランからは、シリアが指摘した点を、新報告案の脚注に記載すべきと主張し、シリアもイランを支持した。カナダからは、脚注よりも、「RR の条件による」等の一般的な記載をすればよいのではないかとコメントを行った。イランは、一般的な記述よりもシリアが指摘した点を簡単に記載すればよいと反対した。最終的に、SG5 議長より編集上の修正であるとして WP5D 議長に対応が要請された。以上の修正を行うことにより、新報告案は承認された。

② 新報告案 ITU-R M.[IMT.TECH]: “REQUIREMENTS RELATED TO TECHNICAL PERFORMANCE FOR IMT-ADVANCED RADIO INTERFACE(S)”

【入力文書: 5/60(WP5D)】

本文書は、ITU-R における IMT-Advanced 無線インタフェースの標準化に関連し、

IMT-Advanced が満たすべき技術的な最小要求条件(周波数利用効率、帯域幅、遅延時間、モビリティ、ハンドオーバ、VoIP 容量)を取りまとめたものである。

審議では、カナダより、新報告案の承認は支持するが、4.7 章のハンドオーバの項の最後に記載された、“In addition, inter-system handovers between the candidate IMT-Advanced system and at least one IMT system shall be supported, but are not subject to the limits in Table 5.” の文は、IMT-Advanced が現時点でない時点でどのようなハンドオーバを検討すればよいのか不明であるとして、削除の提案が行われた。シリアは削除には反対しつつ、今後の研究を通して検討すればよい、という趣旨での修正提案を行った。これに対し WP5D 議長からは、新報告案の内容は IMT-Advanced の無線インタフェースの最小要求条件として規定されたものであり将来的に行うという意味での検討は不適であること、カナダの指摘の部分は WP5D でも議論があり適切に合意された文章であるとの説明が行われた。日本も原文を維持すべきとコメントし、修正は行わないこととした。以上の議論を経て、新報告案は承認された。

③ 新報告案 ITU-R M.[IMT.EVAL]: “Guidelines for evaluation of radio interface technologies for IMT-Advanced”

【入力文書:5/69(WP5D)】

本文書は、ITU-R における IMT-Advanced 無線インタフェースの標準化に関連し、ITU-R へ提案された IMT-Advanced の候補無線インタフェースが、最小要求条件を満たしているかを判断するための評価のガイドラインを取りまとめたものである。

審議では、シリアからは、当該報告案は WP5D の中で専門家が作成した評価のガイドラインであろうとのコメントが出され、SG4 における IMT の衛星系の検討でも同様な作業が実施されることを望むとのコメントが出された。また、SG5 議長から、エディトリアルなコメントを別途 WP5D 議長に提示したいとコメントされた。以上の議論を経て、新報告案は承認された。

④ 報告ITU-R M.2113の改訂案: “Sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area”

【入力文書:5/65(WP5D)】

本文書は、2500-2690MHz 帯における IMT-2000 と固定 BWA との共用検討に関連し、新たに IMT-2000 システムとして IMT-2000 CDMA TDD 方式の検討結果を追加したものである。

審議では、特段の意見はなく、報告改訂案は承認された。

(4) 審議報告

EXECUTIVE REPORT FROM WORKING PARTY 5D

【入力文書:5/72(WP5D 暫定議長)】

WP5D 議長より行われた報告に対して、以下の議論があった。

シリアからは、前回の SG 会合でも指摘を行ったが、WP5D の作業計画の記載において、“spectrum” という用語を使うべきでなく、今後修正を行ってほしいとコメントが行われた。また、“market” という言葉に対しても、同様の指摘が行われた。WP5D 議長からは、“spectrum” については、指摘を踏まえ、“spectrum aspects” に変更を行っているとの回答があった。

またシリアより、研究課題 77 は、既に ITU-D SG2 で検討を行っており、WP5D への割り振りには不要との意見が出され、将来的に当該研究が WP5D で行われないことを望むとのコメントが行われた。SG5 議長は、本件を次回 WP5D 会合で議論してほしいと要請を行った。WP5D 議長は、本件は前回の SG5 会合でも議論となり、引き続き WP5D で議論するステータスであると理解していると回答するとともに、現状でも ITU-D SG2 からリエゾン文書のやり取りがあること

を指摘し、本 Question の維持にこだわるものではないが今後の WP5D への入力文書の状況を踏まえて、今後も途上国への IMT 普及に関する検討は行っていくと回答した。

(5) その他

【入力文書：5/66(WP5D)】

前回の SG5 会合でシリアから行われた、OFDMA TDD WMAN に関する国際ローミング能力に関する質問に対して、WP5D 議長からの回答が行われた。シリアからは、当該回答は理論的なものであり、実際の市場に出ている端末についての能力が知りたかったとコメントが行われた。SG5 議長からは、SG や WP は勧告の作成等に責任を持っており、その観点から回答をしてくれたものと理解しており、シリアの質問は WP のスコープ外ではないかとコメントが行われ、ドイツも SG5 議長の意見を支持した。韓国からは(シリアの質問が韓国製端末の機能に関する疑念から生じていることから)、次回 2 月の WP5D 会合で実際の端末を持ってきたいとコメントするとともに、インテルからは、端末は韓国だけでなく米国でも既に入手可能であり、OFDMA TDD WMAN のチップセットを利用して色々な機器に搭載可能であるとコメントが行われた。

2. 5 SG5 の WP 構成

多くの寄書が寄せられたが、英国(3WP を提案)を除き 4WP 構成の提案である。なお、米国とチュニジアの寄書は WP5D の作業内容の一部を WP5A に移管することを提案する内容である。

会議の冒頭、シリアから、SG Structure に関してはアラブ 6 国を代表し、この件については文書の審議しないようにとの提案。また、イランからは、ほとんどの寄書は同じ内容であり、シリアの寄書を審議するなどコメントを支持し、基本的に現状の 4 つの WP 構成を続けるべきとした。米国(4WP の提案だが、WP5D の作業内容の一部を WP5A に移管することを提案)は、他と異なる内容の寄書は紹介すべきと発言した。

そのため SG5 議長は、異なる内容の提案(WP 所掌事項の一部移管)については将来 WP5A、WP5D で検討することにし、ここで 4WP と結論付けることを提案した。また、BR 局長は、WP5A と WP5D の作業の境界については検討が必要であるが、必要であれば WP5A、WP5D の同時開催も検討するとした。そのため、会議の大勢は 4WP 構成となり、今後各 WP 内で作業の移管等については WP への寄書に基づき検討することとした。米国は米国の見解を示す Statement を会合終了時に読み上げ、Summary Record に記録することとした。

上記に関連し、各 WP 議長は、前会合で決定した WP5B 議長を含め以下が正式議長として指名されている。

WP5A Dr. Costa (CAN)

WP5B Mr. Mettrop (UK)

WP5C Mr. Glass (USA)

WP5D Mr. Blust (AT&T)

2. 6 その他全体に関わる事項

(1) 旧 WP8D 及び 8F で作成された勧告の今後の改訂について

【入力文書：5/44(SG4, 5 議長)、58(SG4)、61(SG4, 5 議長)】

旧 WP8D, 8F が作成した IMT に関する M シリーズの ITU-R 勧告についての今後の改訂の実施方法に関連して、文書 5/44、5/58、5/61 の説明が SG5 議長より行われた。本内容は、SG4、5 議長の間で調整・確認をした結果であり、特段コメントはなく、今後の勧告の改訂方法につい

て確認された。

(2) 決議 224(WRC-07 改)及び決議 749(WRC-07)における研究について

【入力文書:5/49Rev.1(SG5, 6 議長)、55(ニュージーランド)、56(JTG5-6 議長)、85(カナダ)、122(JTG5-6 議長)】

SG5 議長より、文書 5/49(Rev.1)の内容として、以下の説明が行なわれた。

- ・ 決議 224 と 749 の invites ITU-R 1 について、SG5、6、JTG5-6 間で作業の重複が発生しないように整理した内容
- ・ 決議 224 の invites ITU-R 4 の周波数アレンジメントの検討は、SG 議長間で合意した内容に本 SG 会合への寄与文書でコメントが行われている状況

シリアは、5/49(Rev.1)の内容を支持し、さらなる議論は不要、JTG5-6 の結果を勧告化する際には、SG5、6 間で合意された方法で実施すべきとコメントした。引き続き、関連入力文書の説明が行なわれ、その説明に対して以下の議論があった。

- ・ ニュージーランド(文書 5/55):イランから、決議 224 の invites ITU-R 4 の検討で、470MHz 以上の放送業務の保護を考慮しなくてよいとの解釈は合意できないとコメントが行われた。
- ・ JTG5-6 議長(文書 5/56, 122): イランから、文書 5/122 内の、"Adjacent channel interference will be treated in these studies within the band 790-862 MHz, where more than one country is involved." の文について、within は in とすべきと指摘が行なわれた。JTG5-6 議長は、本文書は JTG5-6 のプレナリで承認されたものであり、ここで変更はできないと回答した。イランは JTG5-6 における他の文書では変更が認められており、今後作成される最終的な文書では反映して欲しいとコメントした。
- ・ カナダ(文書 5/85): イランから、(1)New applications を所掌とする WP が自動的に leading WP になるという考え方ではなく、関連する WP が双方の合意の上作業が進められるべき、(2)隣接チャネルの検討は、450-470, 790-862MHz の周波数帯の上端/下端の両方で必要、(3)従来から移動業務に分配がある場合でも、IMT として使用する場合には、放送との両立性の検討が必要であるとコメントが行なわれた。

以上の議論を踏まえて、決議 224 と 749 の invites ITU-R 1 の考え方については、SG5 議長からは、JTG5-6 議長と相談の上、文書 5/122 のエッセンスを SG5 傘下の WP に配布したいと回答が行なわれた。

また決議 224 の Invites ITU-R 4 の取り扱いについては、以下の議論があった。

- ・ ニュージーランドは、invites ITU-R 4 の検討では、450-470MHz の隣接業務の保護の考慮は求められていないとして、文書 5/49(Rev.1)に記載された、"to which the band is allocated as well as the protection of the broadcasting service which operates in the adjacent band from 470 MHz upwards"の文章の変更が必要であるとコメントした。
- ・ SG5 議長は、invites ITU-R 4 には、taking into account considering h)、considering h)には報告 ITU-R M.2110 が参照されていること、M.2110 には隣接の放送業務との検討が実施されていること、一般に他業務への有害な干渉は避けるべきことから、隣接業務を全く無視するという考え方は不適であろうとコメントした。さらに、文書 4/49(Rev. 1)の内容を変更する場合には、再度 SG6 に諮るなど、プロセス上時間がかかることを指摘した。
- ・ フランスからは、周波数アレンジメントの検討は SG5 の責任所掌があるのかと確認が行われ、SG5 議長からは、周波数アレンジメントの検討は SG5 に責任がある、もし勧告案を作ったときに、影響を与える恐れがあるのであれば、関連 SG 間で問題を解決しなければいけないと回答が行なわれた。イラン、シリアも SG5 議長の考え方を支持した。

以上の議論を踏まえ、IMT の周波数アレンジメントの検討は SG5 に責任所掌があり、隣接する放送業務に影響を与える恐れがある場合には SG6 との問題の解決が必要との結論となり、Summary Record に議論のまとめを行なうことにした。

なおカナダより、Summary Record に対して「JTG5-6 の検討に基づきいかなる結果を第二地域に適用する場合には、その適用に対して留保する」との趣旨のステートメントの追加要請が行われ、ブラジル、米国が賛同して、連名として記載されることになった(会合後、メキシコも連名に追加)。

(3) 複数の研究委員会(Study Group)の作業部会(Working Party)が関連する案件の作業方法について

【入力文書:5/51 (SG4)、64 (SG7)、86 (カナダ)、99 (SG5 議長)】

各入力文書の説明後、以下の意見が出された。

- ・ シリアは、CPM-1 で決定した WRC 議題に関する作業の方法は確定しており、本件はそれ以外の内容に関わるものであり、SG4 議長あてではなく、CVC 会合で議論すべきであるとコメントした(最終的には、SG4 議長に送りつつ、CVC にコピーを送る形でもよいと述べた)。また、決議 1-5 に基づいて、複数の研究委員会に関連する事項は、合同で決定する必要があるとコメントした。
- ・ イランは、CVC に送ることに問題はないが、RAG での議論には反対とコメントした。また、新たに入ってきた無線業務側が共用検討の責任を持つべきというカナダの考え方には賛成できないとして、関連 SG で合意すべきことであると述べた。
- ・ 米国は、SG4 からのリエゾン文書は、WRC-07 での 3400-3600MHz 帯の IMT への特定に関わる検討を念頭においた、個別問題であり、それに対して個別に回答すべきとコメントした。また回答すべき内容については、原則だけをここで決めておき、詳細については関係者で会合後に議論すればよいとコメントした。
- ・ ドイツは、SG4 議長にリエゾン文書の真意を確認すべきとコメントした。

以上の議論を踏まえて SG5 議長がまとめを行い、(1)文書 99 の Attachment 1 について関係者からのコメントに基づいて修正を行い SG4 議長宛に送付する、(2)SG4 議長にコンタクトして CVC に本件を提起するか意図を確認する、(3)CVC に送るかどうかは別途検討する、こととした。

(4) Analytical list of the Recommendations within SG5

【入力文書:5/115 (SG5 議長)】

SG5 議長より説明が行なわれ、今後の進め方(事務局の協力を得て本 List を Web で参照可能とする)について合意された。

(5) 研究課題、勧告、報告、決議の作業部会への割り当て

【入力文書:5/1 (Rev.1)、2 (Rev.2)】

カウンセラより文書の紹介が行なわれ、WP 議長への確認が要請されるとともに、本 SG5 会合の結果を踏まえて改訂を行なうと述べられた。また、研究課題の番号は以前のものを踏襲しているが、旧 SG8 と SG9 で同一の研究課題が割り当てられていたものは、新しい番号を振りなおし、脚注に古い番号について触れていると説明された。なお、シリアからは、C1、C2 のカテゴリは不要であること、研究課題の数をさらに減らしていくべきとコメントされた。

(6) その他

【入力文書:5/63(NABA)】Broadcasting spectrum sharing and protection

入力文書の紹介が SG5 議長より行なわれ、ノートされた。

【入力文書:5/59(TSAG)】 TSAG からのリエゾン文書

入力文書の紹介が SG5 議長より行なわれ、ノートされた。

【入力文書:5/50(WP4B)、52(WP4A)、57(SG4)】 SG4 及び関連 WP からのリエゾン文書

文書 52 については、SG5 議長より、WRC-07 議題 1.19 については、WP5A が SG5 内で contributing WP であり、Focal point であること、WP5B と 5C が interested WP であることが説明された。いずれの文書に対しても特段の議論はなく、ノートされた。

3 今後の予定

今後の関連する会議のスケジュールは以下の通り。

WP5D	2009 年 2 月 10 日～17 日
JTG5-6	2009 年 5 月 11 日～15 日
WP5A/5C	2009 年 5 月 18 日～27 日
WP5B	2009 年 5 月 19 日～28 日
SG5	2009 年 5 月 29 日
WP5D	2009 年 6 月 10 日～17 日
WP5D	2009 年 10 月 14 日～21 日
JTG5-6	2009 年 11 月 18 日～24 日
WP5A/5B/5C	2009 年 11 月 23 日～12 月 4 日
SG5	2009 年 12 月 7 日～8 日

参考資料 1 SG5 入力文書一覧表

番号	提出元	題目	備考	結果
1(Rev. 2)	<u>SG 5</u>	Questions assigned to Radiocommunication Study Group 5	SG5に割り当てられた研究課題一覧	-
2(Rev. 2)	<u>SG 5</u>	Provisional attribution of the Study Group 5 texts to the Working Parties	SG5の文書のWPへの暫定割り振り	-
41	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1 and 5 – Recommendation ITU-R P.1817	情報文書	Noted
42	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1 and 5 – Recommendation ITU-R P.1814	情報文書	Noted
43(Rev.1)	Study Group 5	Summary record of the meeting of Study Group 5	前回SG5会合の Summary Record	承認
44	Chairmen, SGs 4 and 5	Future updating of the ITU-R Recommendations developed by the former Working Parties 8D and 8F	旧WP8D, 8Fが作成したIMTに関する勧告についての今後の改訂方法	Noted
45	BR Study Group Department	ITU-R Study Group Question to be brought to the attention of Study Groups 4 and 5 (former SG 9) – Question 223-2/8 “Internet protocol applications over mobile systems”	情報文書	Noted
46	BR Study Group Department	ITU-R Study Group Question to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 and 7 – Question 212-3/8 “Nomadic wireless access systems including radio local area networks for mobile applications”	情報文書	Noted
47	BR Study Group Department	ITU-R Study Group Question to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 (former SG 9) and 6 – Question 241-1/8 “Cognitive radio systems in the mobile service”	情報文書	Noted
48	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 (former SGs 8 and 9) and 6 – Recommendation ITU-R RA.1031-2 “Protection of the radio astronomy service in frequency bands shared with other services”	情報文書	Noted
49(Rev.1)	Chairmen, SGs 5 and 6	Consideration on and proposals for the studies requested in Resolution 224 (Rev.WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	決議224 (WRC-07改)及び決議749 (WRC-07)に関する作業方法	本作業方法について合意

番号	提出元	題目	備考	結果
50	WP 4B	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D and Study Group 5 – Definition of networks that utilize both satellite and terrestrial components	リエゾン文書	Noted
51	SG 4	Liaison statement to Study Groups 1, 3, 5, 6 and 7 – Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group	複数のSGのWPが関連する案件の作業方法	入力文書99の項を参照
52	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B concerning WRC-11 Agenda item 1.19 (copy for information to Working Party 4C and Study Groups 3, 5, 6 and 7)	リエゾン文書	Noted
53	UMTS FORUM	On Study Group 5 (SG5) structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
54	3G Americas	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
55	New Zealand	Regarding studies requested in Resolution 224 (Rev. WRC-07) and Resolution 479 (WRC-07)	決議224(WRC-07改)及び決議749(WRC-07)に関わる作業方法	入力文書49Rev.1の項を参照
56	Chairman, Joint Task Group 5-6	Comments in response to views of Chairmen of Study Groups 5 and 6 regarding the studies requested in Resolution 224 (Rev.WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	決議224(WRC-07改)及び決議749(WRC-07)に関わる作業方法	入力文書49Rev.1の項を参照
57	SG 4	Liaison statement – Proposed scopes for Recommendations under the joint responsibility of Study Groups 4 and 5	リエゾン文書	Noted
58	SG 4	Liaison statement – Future updating of the ITU-R Recommendations developed by the former Working Parties 8D and 8F	旧WP8D, 8Fが作成したIMTに関する勧告についての今後の改訂方法	Noted
59	TSAG	Liaison statement on improved geographic distribution and coordination of ITU-T Seminars and Workshops	リエゾン文書	Noted
60	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.TECH] – Requirements related to technical system performance for IMT-Advanced radio interface(s)	新報告案	承認
61	Chairmen, Study Groups 4 and 5	Future updating of the ITU-R Recommendations developed by the former Working Parties 8D and 8F	旧WP8D, 8Fが作成したIMTに関する勧告についての今後の改訂方法	Noted
62	Australia	Regarding structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定

番号	提出元	題目	備考	結果
63	North American Broadcasters Association (NABA)	Broadcast spectrum sharing and protection	-	Noted
64	SG 7	Liaison statement from Study Group 7 to Study Group 4 (and copy to SGs 1, 3, 5, 6 and for information to RAG) – Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group	リエゾン文書	入力文書99の項を参照
65	WP 5D	Draft revision of Report ITU-R M.2113 – Sharing studies in the 2 500–2 690 MHz band between IMT–2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area	報告改訂案	承認
66	WP 5D	Note to Study Group 5	OFDMA TDD WMAN の国際ローミング能力について	Noted
67	Mexico	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
68	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.REST] – Requirements, evaluation criteria and submission templates for the development of IMT–Advanced	新報告案	一部エディトリアル修正、承認
69	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT/EVAL] – Guidelines for evaluation of radio interface technologies for IMT–Advanced	新報告案	一部エディトリアル修正、承認
70	WP 5D	Note to Study Group 5 – Analytical list of the Recommendations within Working Party 5D	勧告のスキープの追加案	一部エディトリアル修正、承認
71	Russian Federation	In relation to Study Group 5 structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
72	Acting Chairman, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D	WP5D 議長報告	承認
73	Colombia (Republic of)	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
74	GSM Association	Regarding structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
75	Alliance for Telecommunications Industry Solutions	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
76	Canada	Study Group 5 structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定

番号	提出元	題目	備考	結果
77	SG 4	Liaison statement to Study Group 5 – Results of the consideration on the SF-Series Recommendations	リエゾン文書	承認
78	Italy	Proposal for the Study Group 5 Structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
79	United States of America	ITU-R Study Group 5 Structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
80	TELSTRA CORPORATION LTD	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
81	China (People's Republic of), Singapore (Republic of), New Zealand, Korea (Republic of), Japan	Regarding Working Party structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
82	Finland	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
83	Greece	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
84	WP 5A	Draft revision of Question ITU-R 215-2/5 – Frequency bands, technical characteristics, and operational requirements for fixed wireless access systems in the fixed and/or land mobile services	研究課題改訂案	採択(一部修正)。郵便による承認手続きへ
85	Canada	Studies requested in Resolution 224 (Rev. WRC-07) and Resolution 749 (WRC-07)	決議224(WRC-07改)及び決議749(WRC-07)に関わる作業方法	入力文書49Rev.1の項を参照
86	Canada	Inter-Working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group	複数のSGのWPが関連する案件の作業方法	入力文書99の項を参照
87	WP 5B	Draft new Question ITU-R [COMPAT-VHF]/5 – Compatibility between digital sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and both the aeronautical radionavigation service in the band 108-117.975 MHz and the aeronautical mobile (route) service in the band 117.975 – 137 MHz	新研究課題案	差し戻し
88(Rev.1)	WP 5B	Draft new Question ITU-R [WAIC]/5 – Technical characteristics and operational requirements of wireless avionics intra-communications (WAIC)	新研究課題案	承認

番号	提出元	題目	備考	結果
89	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[ANT PAT] – Mathematical models for radiodetermination radar systems antenna patterns for use in interference analyses	新勧告案	採択。郵便による承認手続きへ
90	Ireland	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
91	Switzerland (Confederation of), Liechtenstein (Principality of), Netherlands (Kingdom of the)	On Study Group 5 structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
92	Sri Lanka (Democratic Socialist Republic of) *	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
93	Germany (Federal Republic of) *	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
94	Austria, Germany (Federal Republic of)	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
95	Telefon AB-LM Ericsson, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Nokia Corporation *	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
96	E-Plus Mobilfunk GmbH	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
97	Telefónica S.A.	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
98	Deutsche Telekom AG	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
99	Chairman, SG 5	Draft reply to the Chairman of Study Group 4 – Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group	複数のSGのWPが関連する案件の作業方法	Attachment 1の内容に基づいてSG4議長と議論

番号	提出元	題目	備考	結果
100	Spain	Study Group 5 structure	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
101	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[MET-RAD] – Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	新勧告案	郵便による同時採択・承認手続き(PSAA)へ
102	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[METRAD-TEST] – Theoretical analysis and testing results pertaining to the determination of relevant interference protection criteria of ground-based meteorological radars	新報告案	承認
103	France Telecom	Position on the structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
104	Alcatel-Lucent France	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
105	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Regarding structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
106	France	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
107	Sweden	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
108	Tunisia	Regarding structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
109	AT&T Inc.	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
110	Ericsson Canada Inc. , Telus Mobility , Research in Motion	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
111	Bouygues Telecom	Structure of Study Group 5	SG5 WP構成の提案	4WP構成と決定
112	WP 5C	Draft revision to Recommendation ITU-R F.1247-1 – Technical and operational characteristics of systems on the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and earth exploration-satellite services operating in the bands 2 025-2 110 MHz and 2 200-2 290 MHz	勧告改訂案	エディトリアル修正。 郵便による同時採択承認手続き(PSAA)へ

番号	提出元	題目	備考	結果
113	WP 5C	Draft revision to Recommendation ITU-R F.1249-1 – Maximum equivalent isotropically radiated power of transmitting stations in the fixed service operating in the frequency band 25.25–27.5 GHz shared with the inter-satellite service	勧告改訂案	WP5Cで再審議
114	WP 5C	Note to Study Group 5 – Analytical list of the Recommendations within Working Party 5C	情報文書	WP5Cで見直し
115	Chairman, SG 5	Analytical list of the Recommendations within Study Group 5		Noted
116	Acting Chairmen, WP 5A and WP 5C	Organization of the work on fixed wireless access (FWA)	WP5A, 5C議長からの報告	エディトリアル修正、承認
117	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1842 – Characteristics of VHF radio systems and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service RR Appendix 18 channels	改訂勧告案	郵便による同時採択承認手続き(PSAA)へ
118	Acting Chairman, WP 5C	Executive Report on the meeting of Working Party 5C	WP5C議長報告	承認
119	Chairman, WP 5B	Executive Report on the second meeting of Working Party 5B	WP 5B議長報告	承認
120	Acting Chairman, WP 5A	Executive Report on the meeting of Working Party 5A	WP 5A 議長報告	承認
121	BR Study Group Department	List of documents issued	入力文書一覧	-
122	Chairman, JTG 5-6	Note from the Chairman, Joint Task Group 5-6 to Chairmen, Study Groups 5 and 6 – Sharing studies conducted in response to Resolution 749 (WRC-07	決議224(WRC-07改)及び決議749(WRC-07)に関わる作業方法	入力文書 49Rev.1の項を参照

参考資料2 日本寄与文書の審議結果

番号	題目	審議結果	出力文書
81	Regarding Working Party structure of Study Group 5	本件に絡む寄書の紹介はなかったが、本文書の提案が大勢であり、4WP体制が決定した。	-

参考資料3 勧告文書の承認プロセス

